



平成 29 年 12 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ビジョナリーホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 星崎 尚彦
 (J A S D A Q ・ コード 9 2 6 3)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役執行役員 CFO 三井 規彰
 電 話 0 3 - 6 4 5 3 - 6 6 4 4 (代表)

上場廃止となった子会社（株式会社メガネスーパー）の平成 30 年 4 月期第 2 四半期連結累

計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 1 日をもって完全子会社化した株式会社メガネスーパーは、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 6 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 4 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 5 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日）の業績予想と実績との間に差異が発生いたしましたので、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 30 年 4 月期 第 2 四半期累計期間（平成 29 年 5 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日）業績予想数値と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,204	百万円 300	百万円 250	百万円 50	円 銭 0.14
実 績 (B)	10,578	355	323	132	0.39
増減額 (B - A)	374	55	73	82	0.25
増減率 (%)	3.6	18.3	29.2	164.0	178.5

2. 差異発生の理由

売上高については、眼鏡等小売事業におけるコンタクトレンズの販売、並びに EC 事業が好調に推移し当初予想を上回ったことから、前回予想を上回る結果となりました。

利益面は、成長戦略に掲げる「目の健康プラットフォームを通じた同業のロールアップ」により事業規模の拡大を図る一方で、事業基盤の共有化を進めた結果、メガネハウス社並びに関西アイケア社（シミズメガネ）の原価率が改善しました。また、販売費および一般管理費についてもグループ全体での最適化が進展し、増収が増益につながる収益構造への転換が図れた結果、各段階利益においても前回予想を上回る結果となりました。

なお、当社の通期連結業績予想につきましては、個人の消費動向や売上高の季節変動による影響度合い等、引き続き不確実性が高いこと等を勘案し、平成 29 年 11 月 1 日公表の通期業績予想値に変更はございません。今後修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

以 上